

(6) 読解力の問題例

「携帯電話の安全性」に関する問題(2009年、読解力)

携帯電話の安全性



キーポイント

携帯電話の健康に対する影響について、相反する結論を述べた報告書が、1990年代後半に発表されました。

キーポイント

携帯電話の影響を調査するため、これまで多額の科学研究費が投入されてきました。

キーポイント

携帯電話の利用者数の多さを考えると、健康への影響がごく小さいことであっても、大きな社会問題になる可能性があります。

キーポイント

2000年のシュワート報告(英国の報告書)によれば、携帯電話による健康被害は確認されていないとのことですが、さらに調査が行われるまでは、特に若者の携帯電話の使用には注意を要するとしていました。2004年に発表された報告書でも、同様の指摘がなされています。

携帯電話は危険ですか?

はい

いいえ

1. 携帯電話が発する電磁波は、体の組織を発熱させ、悪影響を与えます。

電磁波は、体を発熱させて悪影響を与えるほど強くありません。

2. 携帯電話がつくりだす磁場は、体の細胞の活動に影響を与えます。

磁場はとても弱いので、体の細胞に影響を与えることはまず考えられません。

3. 携帯電話で長電話をすると、だるさや、頭痛や、集中力の低下を感じる場合があります。

そのような影響は実験では見られません。現代の生活スタイルの中に、何かほかの原因があるのでしょう。

4. 携帯電話を使っているとき、電話を当てる耳の側に、がんが2.5倍もできやすくなります。

研究者によれば、がんができてやすくなるのが、携帯電話を使うことと関係があるかどうかは明らかではないそうです。

5. 国際がん研究機関は、小児がんと高圧線に関することを発見しました。高圧線は、携帯電話と同じように電磁波を発しています。

高圧線が発する電磁波は違う種類のものであり、携帯電話が発する電磁波より、かなり強いエネルギーを持っています。

6. 携帯電話が発するものと同じ高周波の電波によって、線虫の遺伝子の発現に変化が生じました。

線虫は人間ではありません。だから、人間の脳細胞が同じように反応するとはわかりません。

携帯電話を使うときは、

こころみましょう

やめましょう

通話は短くすませましょう。

電波状態の悪いときは、携帯電話を使わないようにしましょう。基地局と通信するために強いパワーが必要になるので、携帯電話が出す電磁波も強くなります。

待ち受け時は、携帯電話を体から離して持ち歩きましょう。

SAR値(*)が高い携帯電話を買うのはやめましょう。より強い電磁波を発します。

連続通話時間の長い携帯電話を買きましょう。効率がよく、電磁波がそれほど強くないからです。

ほかの機関が検査したものでなければ、電磁波を防ぐ器具を買うのはやめましょう。

*SAR(比吸収率)値とは、携帯電話を使っているときに、体に吸収される電磁波の量をあらわします。

「携帯電話の安全性」は、あるウェブサイトで引用したものです。「携帯電話の安全性」を読んで、以下の問いに答えてください。

問1 「キーポイント」は、どのような目的で書かれたものですか。
A 携帯電話を使うことの危険を説明するため
B 携帯電話の安全性についての議論が続いていることを示すため
C 携帯電話を使う人が守るべき注意点を説明するため
D 携帯電話による明らかな健康被害はないことを示すため

問2 「あることが、明らかにほかのこの原因になっているかどうかを証明するのは難しい」という意見があります。上の意見は、「携帯電話は危険ですか?」という表の項目4に書かれている「はい」の主張、あるいは「いいえ」の主張とどのような関係がありますか。

A 「はい」の主張を支持しているが、その正しさを証明していない
B 「はい」の主張の正しさを証明している
C 「いいえ」の主張を支持しているが、その正しさを証明していない
D 「いいえ」の主張は正しくないことを証明している

問3 表の項目3の「いいえ」の主張を見てください。この主張のいう「何かほかの原因」として、どのようなものが考えられますか。原因として考えられることを一つあげ、そのように考えた理由も書いてください。

問4 「携帯電話を使うときは…」という表を見てください。この表は、次のうち、どの考えにもとづいてつくられたものですか。

A 携帯電話の使用に危険性はない
B 携帯電話の使用に危険性があることが証明されている
C 携帯電話の使用に危険性があるかどうかはわからないが、注意したほうがよい
D 携帯電話の使用に危険性があるかどうかはわからないので、はっきりとわかるまでは使わないほうがよい
E 「こころみましょう」は危険性について真剣に考えている人に対する指示で、「やめましょう」は、それ以外の人すべてに対する指示である